

令和7年度 第1回 曳馬中学校運営協議会 会議録（要点記録）

1 開催日時 令和7年5月15日（木） 10時00分から11時30分まで

2 開催場所 曳馬中学校 会議室

3 出席委員 鈴木 芳次、中川 恭子、鈴木 秀住、平間 良明、
小粥 達也、高木 邦子、永井 基紀、高橋 脩夫

4 欠席委員 上原 敬浩

5 学 校 上田 高之（校長）、山下 剛功（教頭・CS担当）、
木村 恵美（主幹教諭）、今田 明子（CSディレクター）

6 傍聴者 なし

7 会議録作成者 CSディレクター 今田 明子

8 議長の選出

司会から、議長の選出について委員に意見を求めたところ、平間委員が、本日の議長を務めることを申し出、全員異議なくこれを承認した。

9 協議事項

- （1）曳馬中学校運営の基本方針について
- （2）夢育やらまいか事業の意見書について
- （3）その他

10 会議記録

司会の教頭山下から、委員総数9人のうち8人の出席があり、過半数に達しているため、会議が成立している旨の報告があった。

（1）曳馬中学校運営の基本方針について

議長の指示により、校長から、別紙資料に基づき学校運営の基本方針について説明があり、委員からは、以下の発言があった。

・靴の自由化等から家庭の経済格差が出ることはないか。（平間委員）

→靴に経済格差が出ているという印象はない。（山下教頭）

→運動靴という指定はあるので、極端になることはない。（小粥委員）

→自分たちで決めたルールの方が守れる。見たところ華美な生徒はいない。（中川委員）

・とことん関わるとはどういうことか。（芳次委員）

→生徒、家庭との関わりを持ち、社会的支援を把握し、結び付ける。SSWとの連携も行っている。（上田校長）

→地域でランドセルのリユースを行ったが、生活困窮者から手が挙がらない。こちらから見つけて対策をとるのが難しいと感じる。（芳次委員）

→立川の事件を考えると、関わる際、先生たちの安全も大事だと感じる。他の生徒の安全も大切なので、関わり方も検討して欲しい。（小粥委員）

→生徒指導主事を中心に学校だけでなく、地域や警察も含めて関わっていく。（上田校長）

→「とことん」という言葉自体に危うさを感じる。生徒を取り残さないという視点と捉えれば良いか。（高木委員）

→生徒を取り残さないということ。教育総合支援センターへは、先生が関わってくれないという相談もある。プリントを届ける等でもいいので、関わりを持続きたい。（上田校長）

・現在の不登校者数を教えて欲しい。（平間委員）

→本校では60名ほどで、国の平均と同程度である。修学旅行や野外活動の欠席者もいる

が、野外活動に途中から参加する生徒もいるので、少しでも参加したいという生徒の気持ちに寄り添っていきたい。（上田校長）
→どこにも繋がっていない生徒は、学校に戻れる確率が半分に下がる。曳馬中の生徒たちはどこかに繋がっているか。（高木委員）
→生徒指導主事を中心に対応している。生徒ごとの対応をまとめ始めたところである。（上田校長）

協議の結果、全員異議なくこれを承認した。

（２） 夢育やらまいか事業の意見書について

議長の指示により、教頭山下から、別紙資料に基づき夢育やらまいか事業の意見書について説明があった。

- ・ アクトシティ大ホール使用料等の全額を今までも夢育やらまいか事業で支出していたか。（小粥委員）
サーラ音楽ホールへの移動はバス代がかなりかかるのか。（平間委員）
→令和６年度、アクトシティ大ホール使用料等の全額を初めて夢育やらまいか事業で支出した。それまでは保護者負担だった。アクトシティ大ホール、楽屋、諸費用、合わせて約 50 万円かかる。電車での移動も社会勉強になる。（山下教頭）
→サーラ音楽ホールだとバス代が 100 万円前後かかってくると思う。（上田校長）
→良いと思う。アクトシティはホールそのものも良いし、保護者の利便性も高い。（小粥委員）
- ・ 吹奏楽部の運営が難しいと聞く。音楽の街なら市がもっとお金をかけてほしい。（芳次会長）
→本校は部員数も多いので運営面で困ることはない。（山下教頭）
- ・ 野外活動はなぜ御殿場まで行っているのか。（高木委員）
→受け入れ可能人数の問題。来年以降の場所と日程を検討する。（上田校長）

（３） その他

- ・ <不審者対策について>学校としての防犯、不審者対策はあるか。教室の鍵を閉める、バリケードを作る練習等、検討をして欲しい。（小粥委員）
→平成 30 年ごろまで防犯訓練を行っていたが、現在は主が防災対策へシフトしている。（山下教頭）
→校区校長会で確認する。理不尽な要求に対しては、交番や中央署と連携を行う。（上田校長）
→抑止力になるのは防犯カメラと掲示だと思う。（高橋委員）
→さすまただけでなく催涙スプレー等も用意してはどうか。（秀住委員）
→防犯対策強化の寄付を募る等で地域との連携も可能ではないか。（平間委員）
- ・ <制服について>進展はあるか。（小粥委員）
→具体的な進展はないが、止まっているということではない。（山下教頭）
→すでにブレザー化した学校でも、改定前の制服の着用者が半分いるという学校もある。全体としては、ブレザー化、ポロシャツ化の流れがある。（上田校長）

その他報告事項等

- ・ 今後の予定
第 2 回運営協議会：令和 7 年 10 月 23 日（木）10:00～
第 3 回運営協議会：令和 8 年 2 月 19 日（木）10:00～

以上